

- 1 対象となる幼児児童生徒
高等部生徒 (肢体不自由、重度重複)
- 2 教材を使用する活動
体育・自立活動
- 3 ねらい

興味関心のある音と光で楽しい雰囲気を共有し、主体的に活動する場面を増やす。反応を見ながら言葉かけを行い、遊びの幅を広げ、コミュニケーションを図る。

教材の使い方	配慮点
<p>【スイッチ教材の仕組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボックススイッチを押すと、カウントダウンが始まり、ピッ、ピッ、ピーという音が鳴る。それに合わせてライトが下の方から光る単純な仕組み。  <ul style="list-style-type: none"> ○色々な場面で活用することができ、活動やゲームで楽しい雰囲気を作ることができる。 ○ボックススイッチを使って主体的な活動へ繋げる。 <p>授業：自立活動 (体育)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボウリングのボールを投げる前やピンの倒れるタイミングなどでスイッチを押すと他生徒もその音で雰囲気を楽しむことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の状況を見ながら、スイッチを提示する。 ○生徒の視線や身体の動きを見ながら、教師が生徒の気持ちを言葉で表現し同調できるように働きかける。 ○他人の反応を見ながら、コミュニケーションを広げるようにする。 